

図書館だより

NO. 197 2014年9月号
(2014年9月1日発行)

はつかいち市民図書館
電話(0829)20-0333
廿日市市下平良1-11-1

ホームページ <http://www.hiroshima-hatsukaichi-lib.jp/>

ステキな本との出会いをこの1冊に!

「100冊読書手帳」を発行します!

子どもたちの読書経験をより豊かなものとし、また、図書館に足を運ぶきっかけとなることを目的に、「100冊読書手帳」を発行します。



- ①読んだ本を100冊記録できます。
- ②おもしろかった本のベスト10を作ることができます。
- ③今度読みたい本を書いておくことができます。
- ④100冊達成すると特製のしおりをプレゼントします。

はつかいち市民図書館、大野図書館、さいき図書館で配布しておりますので、ご希望の方は窓口までお問い合わせ下さい。(※この手帳は小中学生の読書啓発を目的に作成したのですが、一般の方もご利用いただけます。)

今月の展示



《中央展示》

『知っておきたい認知症』

9月は世界アルツハイマー月間です。より多くの方に認知症を理解していただけるように、認知症に対する知識や、介護の仕方、予防法などの資料を集めて展示しています。



《さくらびあ展示》

『神楽を知ろう』

今年もさくらびあ大ホールで「第14回さくらびあ神楽共演大会」が9月28日(日)に行われます。この公演にちなんで、神楽に関する本やDVDを集めて展示しています。



《企画展示》

『本が読みたくなる本』

読書の秋、食欲の秋、スポーツの秋…皆さんにとって、今年の秋はどんな秋になりそうですか? 図書館では読書の秋を応援する本を集めて展示しています。

展示期間：8月29日(金)～9月24日(水)

廿日市市キャリア・スタート・ウィークが行われました！

8月20日（水）～26日（水）の期間（土日を除く）、野坂中学校の生徒2名と、四季が丘中学校の生徒2名が職場体験にやってきました。

本の返却・貸出・配架（返却された本を棚に戻す作業）、修繕、おはなし会のポスター作り、展示の準備など図書館の仕事がたくさん体験しました。



10月の中央展示（9月26日～10月22日）は、中学生たちがテーマを考え、資料を集めて、飾りつけをしたものを展示する予定です。
ぜひ足を運んでみてください。

*** 今月の新刊(一般書) ***

図書館には1カ月に約500冊の新刊が入ります。その一部を紹介します。

- 『お話のリスト』東京子ども図書館/編 東京子ども図書館 015.8/オ（児研）
- 『イエス・キリストは実在したのか？』レザー・アスラン/著 文藝春秋 192/7
- 『勝ち上がりの条件 軍師・参謀の作法』半藤一利/著 磯田道史/著 ポプラ社 S210.0/ハ
- 『集団的自衛権と安全保障』豊下梢彦/著 古関彰一/著 岩波書店 S319.8/ト
- 『皮膚科専門医が教えるやってはいけないスキンケア』檜垣祐子 /著 草思社 494.8/ヒ
- 『すっきり、ていねいに暮らすこと』渡辺有子/著 PHP研究所 590/ワ
- 『庭師が語るヴェルサイユ』アラン・バラトン/著 原書房 629.2/ハ
- 『ともに泣きともに笑う 広陵高校野球部の真髄』中井哲之/著 ベースボール・マガジン社 783.7/ナ（県資）
- 『「こども哲学」で対話力と思考力を育てる』河野哲也/著 河出書房新社 809.6/コ
- 『大人が子どもにおくりとどける40の物語』矢野智司/著 ミネルヴァ書房 909.3/ヤ（児研）
- 『銀翼のイカロス』池井戸潤/著 ダイヤモンド社 F/イ
- 『遺譜』上・下 内田康夫/著 KADOKAWA F/ウ
- 『春の庭』柴崎友香/著 文藝春秋 F/シ





新刊

こどものほん



『オオサンショウウオ』

福田幸広/しゃしん ゆうきえつこ/ぶん そうえん社 E/7

ぼくは、オオサンショウウオ。中国山地の山おくの川でくらしている。夏至の頃、1年に1度の大事な仕事をするために、岩かげからはい出して産卵場所の巣穴を目指して歩きだす。お父さんになったオオサンショウウオが、ひとりで卵を守り、育て、子どもたちを巣立たせるまでの約半年間を紹介する。豊かな自然の中で『命を後世に残す』ため、たくましく生きる姿を描く写真絵本。

『クリスティーナとおおきなはこ』

パトリシア・リー・ゴーチ/作 ドリス・バーン/絵 おびかゆうこ/訳 偕成社 E/11

箱を集めるのが大好きなクリスティーナは、冷蔵庫の空き箱を手に入れ大喜び。穴を開けて窓を作り、ペンキで塔の絵を描くと、箱は大きな城に変身した。ところが隣の家の男の子に壊されてしまい、次はひみつ基地に改造する。しかし、まだまだ基地は壊れて今度はレーシングカーになり…。壊れても壊れても次々に変身していく大きな箱！ 早く箱を捨てたい母親との攻防も見もの。

その他の新刊

『世界にほこる日本の先端科学技術 1-ここまでできている！ iPS・遺伝子・脳研究-』

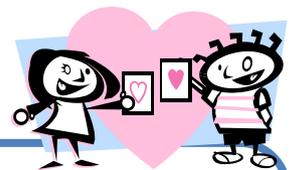
法政大学自然科学センター/監修 こどもくらぶ/編 岩崎書店 502/㌔(シリーズ1~4)

『ペニーさんのサーカス』 マリー・ホール・エッツ/作・絵 松岡享子/訳 徳間書店 E/1

(『ペニーさん』『ペニーさんと動物家族』につづく第三巻、シリーズ完結編)



ブックトーク派遣事業



はつかいち市民図書館には、「ブックトークの会 ピッピ」(代表:梅地佳代子さん、会員:10人)という勉強会グループがあり、2011年の秋から市内の小学校でブックトークを実施しています。毎年、多くの応募があります。今年度は10校から申し込みを頂き、6校を訪問する予定です。今後も心の栄養になる本を、1人でも多くの子どもたちに手渡したいと思っています。

友和小学校4年生に紹介した本 紹介者:梅地佳代子さん
テーマ「いれかわると どうなるの?」

1 「カモのきょうだいクリとゴマ」

なかがわちひろ/作・絵 中村玄/写真 アリス館

2 「大どろぼうホッツェンプロッツ」

オトフリート=プロイスラー/作 中村浩三/訳 偕成社
続編『大どろぼうホッツェンプロッツふたたびあらわる』
『大どろぼうホッツェンプロッツ三たびあらわる』

3 「すんだことはすんだこと」

ワング・ガアグ/再話・え 佐々木マキ/やく 福音館書店

4 「さらば、猫の手」

金治直美/作 こぐれけんじろう/絵 岩崎書店

5 「カクレマノミは大きいほうがお母さん」

鈴木克美/作 石井聖岳/絵 あかね書房

6 「はがめけたらどうするの?」

セルビー・ピーラー/文 ブライアン・カラス/絵
こだまともこ/訳 石川烈/監修 フレーベル館

7 ストーリーテリング「アナンシと五」

「こども世界の民話」下より
内田莉紗子/[ほか]著 実業之日本社

子どもたちはブックトークの後、お目当ての本をいち早く手に取ろうと、いっせいに本の周りに集まります。



紹介する本は毎回、図書館からそのクラスに貸し出します。子どもたちは1か月間いつでも読むことができます。

ブックトークとは…テーマに沿って一定の時間内に数冊の本を複数の聞き手に紹介する読書案内の1つです。ブックトークを勉強してみたい、興味があるという方はぜひ、はつかいち市民図書館までお問い合わせください。

人形劇がやってくる!



今年も人形劇が「図書館まつり」にやってきます。

廿日市市内で活躍しているボランティア団体「どんぐり座」「人形劇コロコロ」による公演です。

観覧希望の方は、往復はがきでお申し込みください。

日時 平成26年11月8日(土)

10:30~12:00 (10:00開場)

場所 はつかいち文化ホールリハーサル室

内容 人形劇「おむすびころりん」他

対象 幼児(3歳)以上

※当日は、駐車場の混雑が予測されるため、公共交通機関でお越しください。

《問い合わせ先》

〒738-0023 廿日市市下平良 1-11-1

はつかいち市民図書館

TEL (0829) 20-0333

《申込方法》

往復はがきに「人形劇」希望と、

①名前(申込者全員の氏名。ただし4名以内)、

②住所、③電話番号をご記入の上、返信面

に住所・氏名を忘れずに書いてはつかいち市民図書館まで送付してください。

※3歳未満の子どもさんは、申込みは不要です。
(人数把握のため、はがきに「3歳未満〇名」と記入して下さい)

《申込締切》

平成26年9月30日(火) 必着

応募者多数の場合は、抽選の上、結果をはがきでお知らせします。

9月の図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5 ◎	6
7	8	9	10	11	12	13 ★
14	15	16	17	18	19 ◎	20 ◆
21	22	23	24	25	26	27 ★ ↑
28	29	30	★9月27日(土)は、「子ども司書が読むおはなし会」です。			

◎ちいさいこのためのおはなし会

【対象】乳幼児

【時間】1回目 11時~

2回目 11時30分~

※相談窓口で整理券をお渡ししています。
カウンターにお問い合わせください。

★おはなし会

【対象】幼児~小学校低学年

【時間】11時~

★9月27日(土)は「子ども司書が読むおはなし会」です。

◆ストーリーテリングのおはなし会

【対象】幼児~大人

【時間】11時~

※場所はいずれも図書館会議室です。